

政府のエネルギー・環境に関する「選択肢」を問う！

～気候変動の観点から見た問題点～

昨年の東日本大震災および原発事故を受けて、政府においてエネルギー政策の抜本的な見直しが行われてきました。そして、予定通りであれば今月中にも、国民に対して今後のエネルギー・環境政策に関する「選択肢」がエネルギー・環境会議から提示されます。

政府の予定では、この「選択肢」について、これから「国民的議論」を経て、夏に最終的な結論を出すとなっています。

しかし、この「選択肢」に係わる議論には、様々な問題が各方面から指摘されています。私たちは、気候変動／温暖化問題に日ごろから関わってきた市民団体・NGOとして、国際的な温暖化対策の流れを無視した、日本の温暖化対策の弱体化に強く懸念を持っています。

今回のこのイベントでは、気候変動・温暖化対策から見たこの政府「選択肢」の問題点を指摘し、今後の「国民的議論」の参考として頂きたいと願います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

内容（予定）

第Ⅰ部. 市民の視点から見た政府選択枝のポイント / 浅岡美恵（気候ネットワーク）

第Ⅱ部. 国際的な気候変動対策の流れ / 小西雅子（WWF ジャパン）

第Ⅲ部. 「野心的な」気候変動対策の可能性 /

高田久代（グリーンピース・ジャパン）・平田仁子（気候ネットワーク）・

上園昌武（地球環境と大気汚染を考える全国市民会議）・山岸尚之（WWF ジャパン）

第Ⅳ部. 質疑・議論

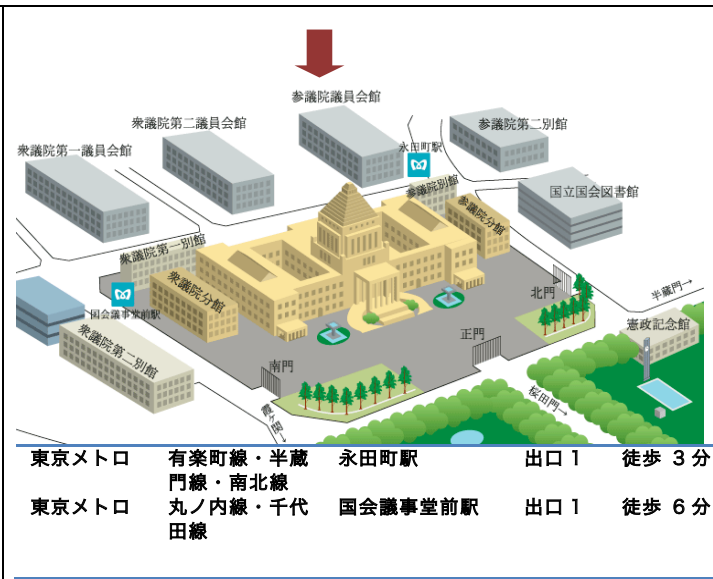
第Ⅴ部. おわりに：市民の選択枝 / 早川光俊（地球環境と大気汚染を考える全国市民会議）

日 時：7月2日(月) 15:00-17:30

参加費：無料

場 所：参議院議員会館 101 会議室
東京都千代田区永田町 1-7-1

共 催：気候ネットワーク、地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)、レインフォレスト・アクション・ネットワーク日本代表部 (RAN)、オックスファム・ジャパン、コンサベーション・インターナショナル・ジャパン、グリーンピース・ジャパン、FoE Japan、環境エネルギー政策研究所 (ISEP)、WWF ジャパン



当日参加も可能ですが、人数把握のため事前に申し込みいただけますと幸いです。下記の申し込み用紙にご記入のうえ FAX (03-3769-1717) にて、あるいは件名に「イベント申込み」とご記入のうえ電子メールにて (climatechange@wwf.or.jp) 7月1日までにお知らせください。当日、入り口にて通行証を配布致します。

お名前：

Tel/email：

ご所属：

■お問い合わせ：WWF ジャパン 気候変動・エネルギーグループ

Tel:03-3769-3509 Fax:03-3769-1717 Email:climatechange@wwf.or.jp

*個人情報の取り扱いについて

ご記入頂いた個人情報は、受付・参加者人数や属性の把握・今後関連するイベント等のお知らせの送付のためにのみ使用いたします。ご記入は任意ですが、必要な情報の記入がない場合は送信できない場合がございます。個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加または削除、利用停止、消去及び第三者提供停止などのお問い合わせは個人情報保護係 (privacy@wwf.or.jp、Tel:03-3769-1719) にて承ります。

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン個人情報保護管理者（事務局長）

上記についてご同意いただいた上で個人情報をご記入ください。